

皆野町文化会館空調設備更新工事 設計図

## 特記仕様書

## I. 工事概要

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 1. 工事場所 | 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野1418-1、他 |
| 2. 建物概要 |                       |

建 物 名 称	構 造	階 数	延 べ 面 積 (m2)	消防法施行令 別 表 第 一	備 考
水一ル種	R C造	地上3階			
管理棟	R C造	地上3階			

(注) 延面積は建築基準法による表記

3. 工事種目（○印のついたものを適用する）

[illegible]

4. 指定部分      ・無      ・有 ( )

## Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様
- (1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の『公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 最新版』及び国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課の『公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 最新版』による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様
- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項						
① 機 材 等	<p>(1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。</p> <p>(2) 「国策による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。</p> <p>(3) 化学物質を発散する建築材料等</p> <p>本工事の建物内側に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1) から 5) を満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り建材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> </ol> <p>上記 1) 、 3) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは発散量が規制対象外のものとする。ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規制対象外</td><td> <ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品</li> <li>③下記表示のあるJAS規格品               <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>b. 接着剤等不使用</li> <li>c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</li> <li>d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> <li>e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用</li> <li>f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> </ol> </li> </ol> </td></tr> <tr> <td>第三種</td><td> <ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</li> <li>③旧JISのEo規格品</li> <li>④旧JISのEco規格品</li> </ol> </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	規制対象外	<ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品</li> <li>③下記表示のあるJAS規格品               <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>b. 接着剤等不使用</li> <li>c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</li> <li>d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> <li>e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用</li> <li>f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> </ol> </li> </ol>	第三種	<ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</li> <li>③旧JISのEo規格品</li> <li>④旧JISのEco規格品</li> </ol>
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料						
規制対象外	<ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品</li> <li>③下記表示のあるJAS規格品               <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>b. 接着剤等不使用</li> <li>c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</li> <li>d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> <li>e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用</li> <li>f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> </ol> </li> </ol>						
第三種	<ol style="list-style-type: none"> <li>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</li> <li>③旧JISのEo規格品</li> <li>④旧JISのEco規格品</li> </ol>						

2

室内空気中の化学物質の濃度測定

3

電源周波数

4

電気工作物の種類

5

電気保安技術者

6

電気工事士

7

工用電力水・その他

8

監督員事務所

9

工用仮設物

10

足場、さん橋類

11

完成図等

12

工事写真

13

発生材の処理

14

残土処理

15

耐震施工

16

電線本数管路など

17

呼び線

18

金属製電線管の塗装

19

蛍光灯器具

20

非常用の照明装置の照度測定箇所数

21

電磁閉断器用押しボタン

22

コンセント

23

n（ゼロ）アース

24

フロアベース

特記事項

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。  
測定はバッチ型採集機器により行う。  
測定対象室 ・ 図示  
測定箇所数 ・ 図示  
①50 Hz ・ 60 Hz  
①事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作物  
工事現場における電気保安技術者は、関東地方整備局制定の国土交通省関東地方整備局自家用電気工作物保安規程に定める工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。  
本工事に必要な工用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。  
①設けない ・ 設ける  
すべて請負者の負担とし、構内につくことが ①できる ・ できない  
①別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。  
①本工事で設置とする。（建築工事とする）  
・ 改修工事の場合は、改修共通仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。  
・ 内部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種）  
・ 外部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種）  
①完成図等をCADデータで提出する場合の保存形式及び保存媒体は監督職員の指示による。  
①既存完成図（CADデータ）の修正を行う。  
建設大臣官房庁内営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂第2版）建築設備編」による。  
1)引渡しを要するもの  
・ 有（ ）  
2)引渡しを要するもの以外  
①焼却搬出し、搬出及びその処理費を含む。  
3)特別産業廃棄物  
・ 有（PCB使用機器： ）  
PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。  
4)「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に準じリサイクル処理を行う義務のある  
・ 工事仕様書による。  
①運戻後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。  
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」により、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。  
なお設計用水平地震力、設計用鉛直地震力は下記による。  
1)設計用水平地震力  
設計用水平地震力は機器の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。  
設計用水平震度  

設置場所	耐震安全性の分類			
	・ 特定の施設（甲種・乙種）		① 一般の施設（乙種）	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階の天井以上	2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
	1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	1.0 (1.5) <1.0>	0.6 (1.0) <0.6>
1層の床以下	1.0 (1.0) <1.5>	0.6 (1.0) <1.0>	0.6 (1.0) <1.0>	0.4 (0.6) <0.6>

  
(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。  
< > 内の数値は水槽類に適用する。  
重要機器  
・ 配電盤 ・ 自家発電装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 直流電源装置  
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置  
上層階の定義は次にによる。  
6階建以下の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13層以上の場合は上層4層とする。  
2)設計用鉛直地震力  
設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。  
また、機械室等の床配線は図面に PF管で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配線部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。  
長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ12mm 以上の被覆鉄線を挿入する。  
下記の露出配管（ライニング配管は除く）は塗装を行う。  
①屋外 ・ 屋内（ ）  
蛍光灯器具（誘導灯は除く。）の安定器の回路方式、電圧は図面に記載なき場合は次による。  

蛍光灯の種類		回路方式	電圧	
直管形	15形以下	PT	100V	
	20形	防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵形非常用照明器具	GL	100V
		20形 上記以外のもの	GH	100V
		30形	GH	100V
		40形及び110形	RH	100V
	コンパクト形	27ワット以下	EL	100V
36ワット以上		PN	100V	
Hf形	図面に記載のない場合	PH	100V	

  
・ 測定数 箇所以上  
・ 監督員の指示による  
遠方操作押しボタンは、適用形とする。  
図面に特記なき場合は、コンセント 2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。  
・ 外部固定 ・ 内部固定 ・ 上下動形  
フロアベースは、水平高低調整機能付（空転防止リング付）とする。

②

プレートの材質

2 6

0-ナシショアプレート

2 7

保安器用接地

②

地中線の埋設標

②

天井仕上り表示

③

接地極

③

取付高さ

②

施工図等の取扱い

③

他工事又は他工種との取合い

3 4

施工調査

3 5

仮設備

3 6

養生

特記事項

フラッシュプレート  
フロアプレート

○金鋼製  
・絶金製

・樹脂製  
・アルミ合金製

一般用 個

・本工事  
・別途

構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。  
・鉄製（ 箇所）  
○コンクリート製（ 箇所）

建築図による。

接地極の材料は下記による。なお、接地棒 E B (14φ) の長さは 1500mm 以上とし、10φ、14φは、W=40 としてよい。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
○ 共 同 接 地	E A 0	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
共同 接 地	E A 0 0	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
A 種 接 地	E A	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
○ B 種 接 地	E B	30Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-1組
D 種 接 地	E D	100Ω 以下	E B (14φ) × 3 連-1 組
○ C 種 接 地	E C	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
高圧避雷器	E L H	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
低圧避雷器	E L L	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
避雷設備	E L	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
交換機用	E t	Ω 以下	E B (14φ) × 3 連-1 組
通信用	E t	10Ω 以下	900×1.5t+EB (14φ) x3連-2組
通信用	E t	100Ω 以下	E B (10φ) × 1 (L=1500mm)
測定用	E o		E B (10φ) × 1 (L=1000mm)

壁付、壁掛形の機器等の取付高さとは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高 [mm]
ブラケット（一般）	床上面～中心	2,100
〃（踏張）	〃	2,500
〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上面～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上面～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床上面～中心	1,300
〃（身体障害者用）	〃	1,100
コネク、電話用ケーブル、直列コネク（一般）	〃	300
〃（和室）	〃	150
〃（台所）	台上面～中心	150
コネク（車庫）	床上面～中心	800
引込開閉器箱（低圧）	床上面～上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床上面～中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床上面～中心	500
避雷接地用端子箱	床上面～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上面～下端	300
中間端子盤（EPS・電気室）	床上面～中心	1,500
親時計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アッテネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
復帰ボタン（ 〃 ）	〃	1,800
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機（複合盤）	床上面～操作部	800～1,500
副受信機	床上面～中心	1,500
自動報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯	〃	（天井高）×0.8
運動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（LPG・L）	〃	300
〃（都市ガス）	天井面～中心	（天井高）-200

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。

・施工計画調査

調査項目（ ）

調査範囲（ / ）図による

調査方法（ / ）図による

・事前調査

調査項目（ ）

調査範囲（ / ）図による

調査方法（ / ）図による

仮設備項目（ ・ ・ ・ ）

仮設備期間（ ・ ・ ・ ）

養生範囲（ / ）図による

養生方法（ / ）図による

3.7 電線類

EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕 様
EM-E B T	E B T（電子ボタンケーブル）に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-U T P	JIS X 5150 (UTP) に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性 <sup>※</sup> リフィンをを用いたもの
EM-C E E - S	JIS X 4258 D (制御用ケーブル(遮へい付))に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性 <sup>※</sup> リフィンをを用いたもの
EM-M E E - S	JCS 271 (MVS) に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性 <sup>※</sup> リフィンをを用いたもの

3.9 はつり

3.9 その他

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

設計図面に記載なき事項も、機能上・法規上必要な工事及び軽微な変更は請負者の負担により行う事。

本工事に必要な官公庁への届出・申請は請負者の負担及び責任に於いて速やかに行う事。

設備機材等指定表（電気の部）

(1) (社) 公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。

品 目	機 材 名	適 用 範 囲	製 造 業 者 等 名
			国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）」による。

メーカーリスト

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日		照査・検図	総括設計者	担当設計者	構造設計者	図 面 番 号
皆野町文化会館空調設備更新工事	電気設備特記仕様書	A1版 N/S A3版 N/S	H29.03	.						